

10.礼拝が終わったならば、あなたがたは方々に散り、アッラーの恩恵を求めて、アッラーを讃えて多く唱念しなさい。必ずあなたがたは栄えるであろう。

11.しかしかれらは、うまい儲けや遊びごとを見かけると、（礼拝のために）立ち上っているあなたを等閑にして、そちらに駆け出す始末。言ってみようがいい。「アッラーの御許（の恩恵）は、遊戯や取引よりも優る。アッラーは、最善の給与者であられる」。

SURA 63.偽信者たち章〔アル・ムナーフィクーン〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1.偽信者たちがあなたの許にやって来ると、「わたしたちはあなたが、本当にアッラーの使徒であることを証言する。」と言う。アッラーは、あなたが確かに使徒であることを知っておられる。またアッラーは、偽信者たちが真に嘘言の徒であることを証言なされる。

2.かれらはその誓いを（悪行のための）隠れ場として、アッラーの道から（人びとを）妨げている。本当にかれらの行うことは、憎むべきである。

3.それは、かれらが一度信仰して、それから不信心になったためで、かれらの心は封じられ、そのためかれらは理解しない。

4.あなたがかれらを見る時、かれらの（立派な）風体に感心するであろう。かれらが語れば、あなたはその雄弁な言葉に魅せられる。だがかれらは、（何の知識もなく何を言っても分らない）壁に寄りかかっているただの材木のようなものである。かれらはどの叫びも、自分たちのことをいっていると考えている。かれらは敵である。用心しなさい。アッラーよかれらを滅ぼして下さい。何とかかれらは（真理から）逸れたことよ。

5.かれらに向かって、「来なさい。アッラーの使徒が、あなたがたのために御赦しを祈るであろう。」と言うと、あなたはかれらが顔を背けて、微慢に背を向けて去るのを見よう。

6.あなたがかれらのために御赦しを祈っても、また祈らなくても、かれらにとって同じである。アッラーは、決してかれらを御赦しになられない。本当にアッラーは、（アッラーの）掟に背く者を御導きになられない。

7.かれらはこう言うのである。「アッラーの使徒と一緒にの者に、施しをすることはできません。かれらは結局解散されるのです。」本当に天と地の宝庫はアッラーの有である。だが、偽信者たちはそれを理解しない。

8.かれらは、「わたしたちがアル・マディーナに帰れば、そこの高貴な者が卑しい者たちを必ずそこから追うでしょう。」と言う。凡そ栄誉は、アッラーと使徒、そしてその信者たちにある。だが偽信者たちには、これが分らない。

9.信仰する者よ、あなたがたの富や子女にかまけて、アッラーを念じることを疎かにしてはならない。そうする者（アッラーを念わない者）は、自らを損う者である。

10.死があなたがたを理う前に、われが与えたものから施しなさい。かれは、「主よ、何故あなたは暫くの間の猶予を与えられないのですか。そうすればわたしは喜捨〔サダカ〕をして、善い行いの者になりますのに。」と言う。

11.定められた時がやって来た時、アッラーは誰にも猶予を与えられない。アッラーは、あなたがたの行うことに通暁なされる。

SURA 64.騙し合い章〔アッ・タガーブン〕

慈悲あまねく慈愛深きアッラーの御名において。

1.天にあり地にある凡てのものは、アッラーを讃える。大権はかれの有であり、讚美もまたかれに属する。本当にかれは凡てのことに全能であられる。

2.かれこそは、あなたがたを創られた方である。だがあなたがたの或る者は不信心者でまた、或る者は信者である。本当にアッラーは、あなたがたの行うことを御存知であられる。

3.(かれは)真理によって天と地を創造なされ、あなたがたを形作って美しい姿になされた。またかれの御許に帰り所はあるのである。

4.(かれは)天と地における凡てのものを知り、あなたがたの隠すものも、現わすものまでも知っておられる。またアッラーは、胸の中に抱くことを熟知なされる。

5.昔の、信仰を拒否した者たちの消息が、あなたがたに達しなかったのか。かれらは悪行の結果を味わい、また痛ましい懲罰を受けた。

6.それは使徒たちが、様々な明証をもってかれらのもとに来たのにも拘らず、「人間が、わたしたちを導けようか。」と言ったためである。それでかれらは信じようとせず背き去った。だがアッラーは、何も求められない。アッラーは、満ち足られる御方讚美されるべき御方であられる。

7.不信心な者は、甦りなどはないと主張する。言ってやるがいい。「そうではない。主に誓っていう。あなたがたは必ず甦るのである。それからあなたがたの行なったことが、必ず告げ知らされる。それはアッラーにおいては容易なことである。

8.だからアッラーとその使徒、そしてわれが下した光明を信じなさい。本当にアッラーはあなたがたの行ったことに通暁なされる。

9.かれがあなたがたを召集なされる集合の日は騙し合いの日である。誰でも、アッラーを信じて、善行に動しんだ者からは、様々な邪悪、不運を払われ川が下を流れる樂園にかれらを入らせ、永遠にその中に住ませる。これは大いなる勝利(至福)である。

10.だが信仰を拒否して、わが印を虚偽であるとした者は業火の住人で、その中に永遠に住む。何と悪い帰り所であることよ。

11.どんな災厄も、アッラーの御許しなく起きることはない。誰でもアッラーを信仰する者は、その心を導かれよう。本当にアッラーは、凡てのことに通暁なされる。